

海賊対処行動派遣部隊が無事任務を終え帰港する

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第34次隊）帰国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のため、第34次派遣水上部隊が、昨年7月28日に日本を発って以来、約6か月ぶりとなる2020年1月25日に呉基地（広島県）に帰港した。

同部隊は、護衛艦「さざなみ」の石川将司艦長が指揮を執り、隊員約180名（他海上保安官8名同乗）が乗船し、アデン湾にて9回に亘り11隻の護衛活動を実施した。

式典では、防衛大臣訓辞を酒井良呉地方総監が、自衛艦隊司令官訓辞を西脇匡史第4護衛隊群司令が代読した。

当協会からは、日本郵船(株)小山智之常務経営委員、(株)商船三井加藤雅徳常務執行役員、飯野海運(株)井上徳親執行役員、共和産商(株)杉谷亮代表取締役、山本汽船(株)西村智樹専務取締役ほか7名が、国際船員労務協会からは今田俊介副会長ほか2名が出席し、派遣部隊の指揮官らにお礼を申し上げるなど、護衛艦乗員の方々のご活躍に対しあらためて感謝の意を表した。

(海務部 事務局)

帰国行事



入港する護衛艦「さざなみ」



代表を務める小山常務経営委員



整列する「さざなみ」乗組員



帰国報告する石川艦長



訓辞を代読する酒井呉地方総監



訓辞を代読する西脇第4護衛隊群司令



派遣部隊を横断幕と共に出迎える当協会関係者